

AR ルーターバージョンアップ手順書

CentreCOM AR500/400 シリーズ

アライドテレシス株式会社

目次

1	ファームウェアインストーラーについて.....	3
1.1	ファームウェアインストーラーの動作.....	3
1.2	ダウンロードモジュール.....	3
1.3	ファームウェアインストーラーの動作環境.....	4
2	ファームウェアインストーラーのインストール.....	4
2.1	アンインストール.....	4
3	バージョンアップ.....	5
3.1	ダウンロードモジュールの解凍.....	5
3.2	通信の確認.....	5
3.3	バージョンアップの実行.....	6
4	トラブルシューティング.....	13
4.1	ファームウェアファイルの転送に失敗する.....	13
4.2	Feature License を付与することができませんでした.....	14
	ご注意.....	15
	商標について.....	15
	マニュアルバージョン.....	15

1 ファームウェアインストーラーについて

1.1 ファームウェアインストーラーの動作

ファームウェアインストーラーは、ファームウェアやファームウェアに付随するファイルを AR ルーターにインストールするツールです。ファームウェアをバージョンアップするときなどに使用し、AR ルーターに対する以下の操作を自動的に行います。

- ダウンロード済みのファームウェア、パッチ、ヘルプの削除
- ファームウェア、パッチ、ヘルプなどのダウンロード
- ファームウェアの有効化 (enable)
- パッチ、ヘルプなどの適用
- AR ルーターの再起動
- ログファイルの出力 (YYMMDD_hhmmss.log)

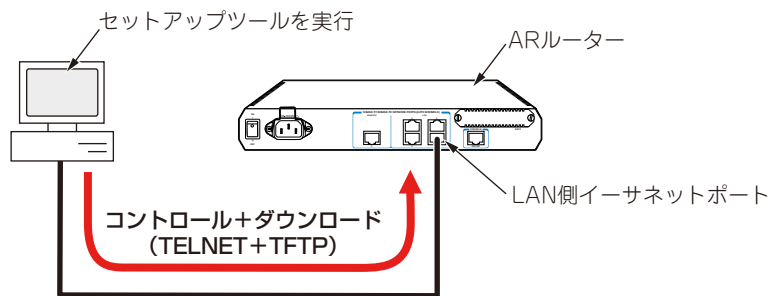


図 1.1.1 ファームウェアインストーラーの動作

最新のファームウェアインストーラーは、弊社 Web ページからダウンロードできます。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

1.2 ダウンロードモジュール

ダウンロードモジュールは、以下のファイルをセットにしたものです。(リリースによっては一部のファイルが提供されないことがあります)

- ファームウェアファイル (.rez)
- パッチファイル (.paz)
- ヘルプファイル (help.hlp)
- リソースファイル (.rsc)
- バージョンアップ情報ファイル (.ini)

最新のダウンロードモジュールは、弊社 Web ページからダウンロードできます。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

1.3 ファームウェアインストーラーの動作環境

ファームウェアインストーラーは、日本語版の下記の OS で動作いたします。

- Windows® XP Home Edition、Windows XP Professional
- Windows 7 Professional

ファームウェアインストーラーは、下記の AR ルーターに適用可能です。

- AR500 シリーズ
- AR400 シリーズ

2 ファームウェアインストーラーのインストール

- 1 ファームウェアインストーラーの自己解凍ファイルを用意し、コンピューター上の適当な場所に置いてください。自己解凍ファイルをダブルクリックしてください。
- 2 次のダイアログボックスが現れます。解凍先のフォルダーを指定して、「OK」をクリックしてください。ここでは、解凍先として「C:¥SETUPTOOL」を仮定します。



図 2.0.1 解凍先のフォルダーを指定

- 3 次のようなファイルが解凍されます。



図 2.0.2 解凍されたファイル

2.1 アンインストール

ファームウェアインストーラーを解凍したフォルダーを削除してください。前述の例では、「C:¥SETUPTOOL」です。

3 バージョンアップ

3.1 ダウンロードモジュールの解凍

最新のダウンロードモジュール (zip) を用意し、解凍ツールを使用して、解凍してください。
ここでは、「C:\¥AR400_V291-21」に解凍したと仮定します。



図 3.1.1 解凍したダウンロードモジュール

3.2 通信の確認

AR ルーターにファームウェアなどをダウンロードするためには、ファームウェアインストーラーを実行するコンピューターと、AR ルーターが IP で通信できなければなりません。通信ができない場合は、次のようにしてコンピューターと AR ルーターが通信できるように設定してください。以下の説明は、次のような仮定で行います。ご使用の AR ルーターに合わせて適宜設定してください。

- AR ルーターの LAN 側のイーサネットインターフェース「vlan1」
- AR ルーターの LAN 側 IP アドレス / サブネットマスク「192.168.10.1/255.255.255.0」
- ファームウェアインストーラーを実行しているコンピューターの IP アドレス / サブネットマスク「192.168.10.100/255.255.255.0」

- 1 コンソールターミナルから AR ルーターに Manager レベルでログインし(デフォルトのユーザー名は「manager」) 次のコマンドを実行してください。

```
manager > enable ip [Enter]
manager > add ip interface=vlan1
ipaddress=192.168.10.1 mask=255.255.255.0 [Enter]
```

- 2 コンピューターのコマンドプロンプトから、AR ルーターに対して Ping を実行します。「Reply from 192.168.10.1」のように表示されれば通信が可能です。

```
C:\¥> ping 192.168.10.1 [Enter]
```

3.3 バージョンアップの実行

重要：バージョンアップは、絶対に運用中には行わないでください。万が一、AR ルーター運用中に実行した場合、バージョンアップに失敗するだけでなく、AR ルーターが起動できなくなる可能性があります。

Ver.2.9.1-21 へのバージョンアップを例にして、手順を説明します。実際の手順では、お客様がご使用になるバージョン番号に読み替えて、バージョンアップを実行してください。

- 1 CONSOLE ポート (RS-232) から、または Telnet によって、AR ルーターにログインしている場合は、ログアウトしてください (ログインした状態で以下の手順を実行すると、バージョンアップに失敗することがあります)。

```
manager > logout [Enter]
```

また、ファームウェアインストーラーは、IP アドレスがひとつのみ割り当てられたコンピューターで実行してください (コンピューターに複数の IP アドレスが割り当てられていると、ファームウェアの転送に失敗することがあります)。

- 2 「fwinst.exe」のアイコンをダブルクリックしてください。



図 3.3.1 ファームウェアインストーラーの起動

- 3 「参照」をクリックしてください。

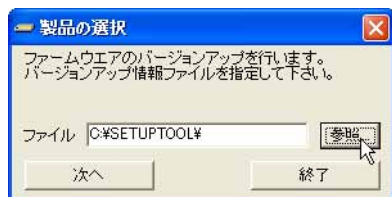


図 3.3.2

- 4 該当機種のバージョンアップ情報ファイル (.ini) を選択して、「開く」をクリックしてください。
下記では、バージョンアップ情報ファイルとして「ar5429121.ini」を選択しています。

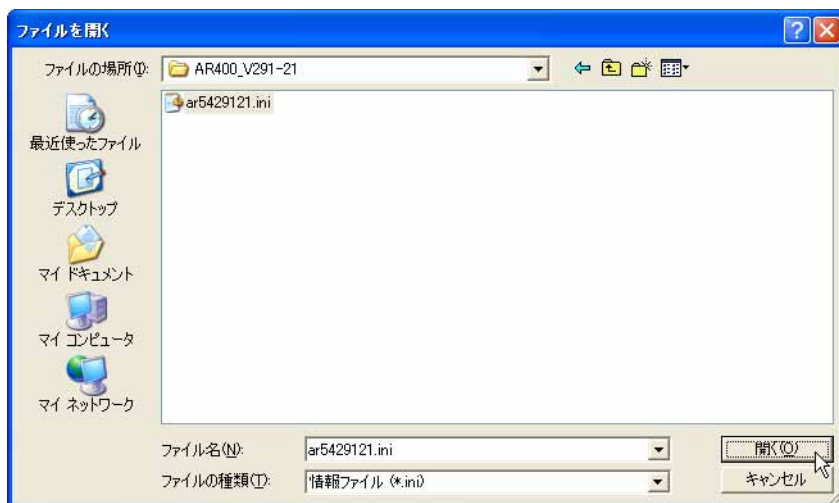


図 3.3.3 バージョンアップ情報ファイルの指定

- 5 「次へ」をクリックしてください。

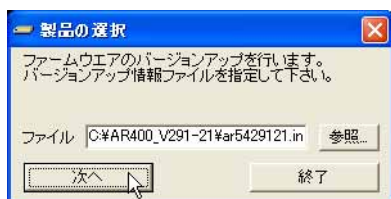


図 3.3.4

- 6 ダイアログボックスの内容（インストールされるバージョン）を確認し、「次へ」をクリックしてください。

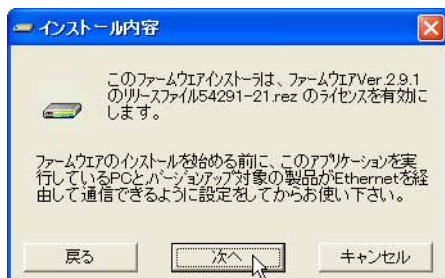


図 3.3.5 バージョンの確認

- 7 「IP ネットワーク」を選択し、バージョンアップの「対象機器の IP アドレス」を入力して、「OK」をクリックしてください。^{*1}



図 3.3.6 AR ルーターの IP アドレスの入力

- 8 ユーザー「manager」のパスワード^{*2}を入力し、「OK」をクリックしてください。AR ルーターがセキュリティーモードに設定されている場合、Security Officer レベルのユーザーでログインしてください。

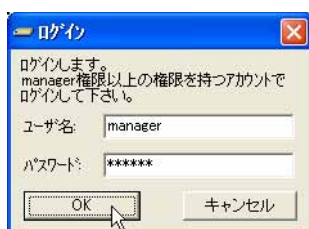


図 3.3.7 ログイン

*1 誤ってファームウェアを消去し、さらに電源のオフ / オンまたは「restart reboot」コマンドによる再起動を行ってしまった場合は、「シリアルポート経由」を選択してください。ファームウェアが存在しない状態で、AR ルーターを起動すると BootROM モードとなり、Telnet は使用できません (tftp はサポート)。

*2 ユーザー名「manager」の初期パスワードは「friend」です。

- 9 バージョンアップが開始されます。ダイアログボックスの上段に進行状況の概要、テキストボックスに詳細なログが表示され、「情報」メッセージボックスにより実行中のコマンドが完了するまでの予想待ち時間が表示されます。ログは、ファームウェアインストーラーがインストールされているフォルダーに(ここでは¥SETUPTOOL) 100820_121234.log のようなファイル名で保存されます。

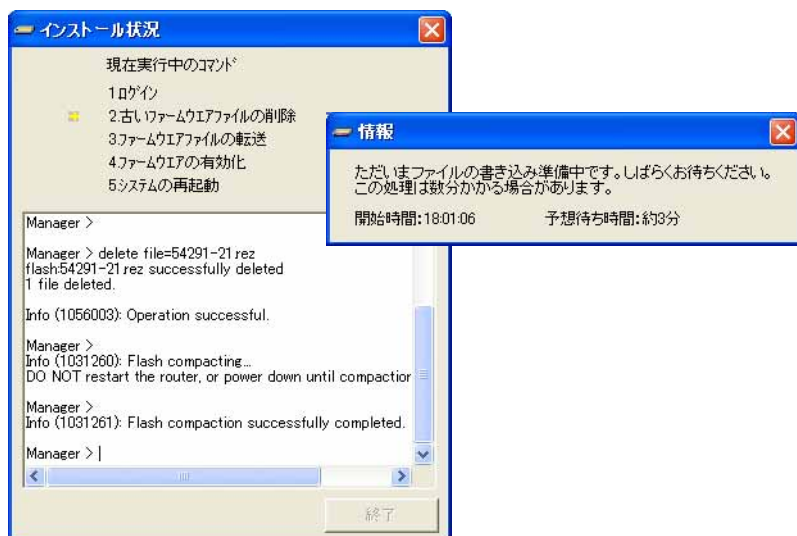


図 3.3.8 インストール状況

重要：手順 9 が実行されている間は(数分かかります) 絶対に AR ルーターの電源をオフにしたり、再起動しないでください。電源のオフや再起動を実行すると、フラッシュメモリ上のファイルシステムが破壊されることがあります(設定ファイルなどの重要なファイルが失われます)

- 10 下記のダイアログボックスが表示されたら、ただちに「ブロックを解除する」をクリックしてください。^{*3}

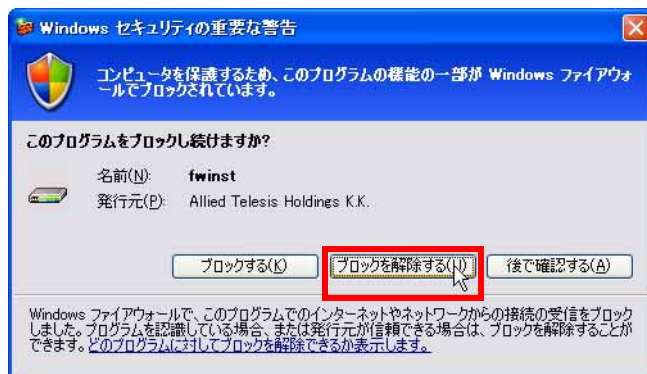


図 3.3.9 ファイアウォールからの警告

*3 図 3.3.9 のダイアログボックスが表示されている間、ファイアウォールは「3. ファームウェアファイルの転送」をブロックしています。一定時間が経過すると、タイムアウトによりファームウェアファイルの転送は失敗します。

図 3.3.9 のダイアログボックスに続いて、次のようなメッセージが表示された場合、ファームウェアのバージョンアップは失敗です。「OK」をクリックすると、ファームウェアインストーラーが終了しますので、図 3.3.9 の「ブロックを解除する」をクリックして、手順 2 (p.6) から再実行してください。なお、バージョンアップが完了するまで*4、AR ルーターの電源オフや再起動を行わないでください。

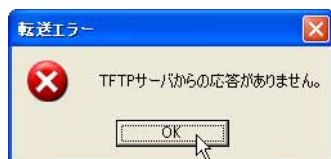


図 3.3.10 バージョンアップの失敗

- 11 「ファームウェアの有効化」まで完了した時点で、AR ルーターを再起動するか否か問われますので、「はい」をクリックしてください。「いいえ」をクリックした場合、AR ルーターは再起動しません（ファームウェアインストーラーを終了した後、AR ルーターの電源のオフ / オン、または restart reboot コマンドを実行してください）。

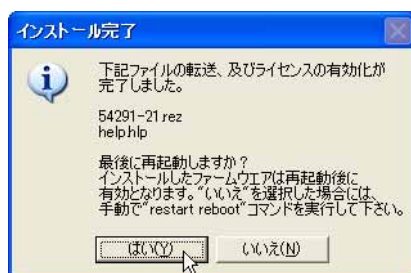


図 3.3.11 再起動の確認

- 12 「OK」をクリックしてください。

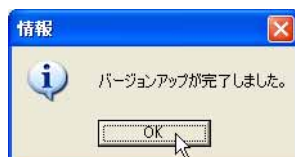


図 3.3.12

*4 この時点で、すでにファームウェアファイルは削除されています。電源オフや再起動を行ってしまった場合は、手順 7 (p.8) で「シリアルポート経由」を選択してください。

13 「終了」をクリックしてください。



図 3.3.13 ファームウェアインストーラーの終了

14 「はい」をクリックしてください。

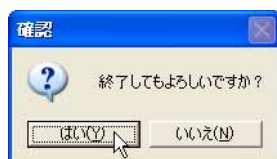


図 3.3.14

- 15 以上でファームウェアのバージョンアップは終了です。AR ルーターの再起動後、ハイパーターミナルや Telnet でログインし、SHOW SYSTEM コマンドを実行すると、Software Version の項でファームウェアのバージョンを確認することができます。SHOW FEATURE コマンドにより、ライセンスが与えられている機能の一覧が表示されます。

```
Manager > show system 

Router System Status                               Time 13:27:03 Date 20-Aug-2010.
Board      ID Bay  Board Name                               Host Id Rev   Serial number
-----
Base       275   AR415S                               0 M1-0       D1AS6700K
-----
Memory -   DRAM : 32768 kB   FLASH : 16384 kB
Chip Revisions -
-----
SysDescription
CentreCOM AR415S version 2.9.1-21 12-Nov-2009   現在のバージョン
SysContact

SysLocation

SysName

SysDistName

SysUpTime
1405906 ( 03:54:19 )
Boot Image      : 415101.fbr size 720540 24-Oct-2006
Software Version: 2.9.1-21 12-Nov-2009   現在のバージョン
Release Version : 2.9.1-00 04-Dec-2006   リリースバージョン
Patch Installed : NONE
Territory      : japan
Country        : none
Help File      : help.hlp

Configuration
Boot configuration file: flash:fwinst.cfg (exists)
Current configuration: flash:fwinst.cfg

Security Mode   : Disabled
```

図 3.3.15 SHOW SYSTEM の表示例

4 トラブルシューティング

4.1 ファームウェアファイルの転送に失敗する

現象

次のメッセージが常に表示され、ファームウェアファイルの転送に失敗する。^{*5}



図 4.1.1 バージョンアップの失敗

原因

バージョンアップ対象の製品が tftp プロトコルを使用して、ファームウェアインストーラ (fwinst) からファームウェアファイルを取得しようとしたのですが、Windows XP のファイアウォール機能などによって tftp プロトコルがブロックされています。

対策

ファームウェアインストーラがファイアウォール機能などでブロックされないよう設定を変更してください。Windows XP のファイアウォールの場合は次のように設定変更します。

「コントロールパネル」 「Windows ファイアウォール」^{*6} をダブルクリックしてください。

「例外」タブをクリックしてください。

図 4.1.2 のように「fwinst」にチェックマークを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。

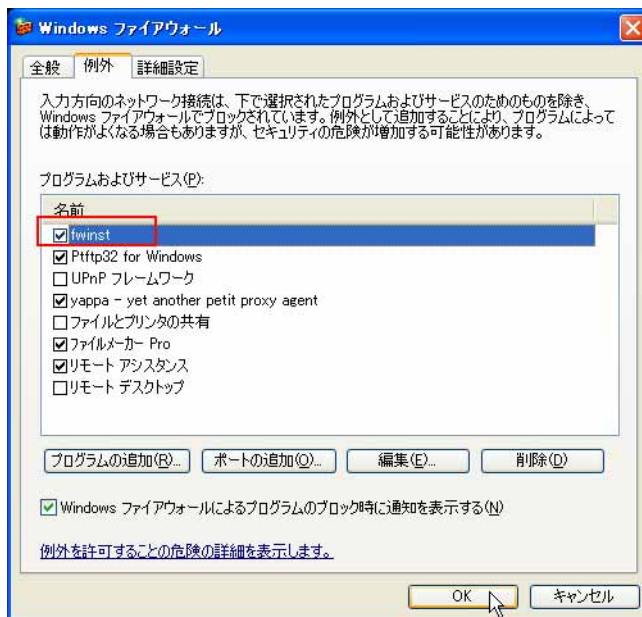


図 4.1.2 fwinst のブロックを解除する

^{*5} 図 3.3.9 (p.9) のダイアログボックスで「ブロックする」をクリックすると、この状況に陥ります。

^{*6} 「コントロールパネル」がカテゴリー表示になっている場合は、「コントロールパネル」 「セキュリティセンター」 「Windows ファイアウォール」のように進んでください。

4.2 Feature License を付与することができませんでした

現象

「インストール状況」ダイアログボックスの「現在実行中のコマンド」が「5. システムの再起動」のとき（p.10 の手順 11 の直前）、次のようなメッセージが表示された。



図 4.2.1 Feature License 付与の失敗

原因

ファームウェアが削除された状態（BootRom）で起動しているため、「enable feature」コマンドを実行することができませんでした。手順 10（p.9）でファームウェアの転送に失敗すると、この状態になります。

対策

上記のダイアログボックスの「OK」ボタンをクリックし、インストールを継続してください。本書の手順をすべて終了した後、Telnet またはコンソールポートから本製品にログインし、上記のダイアログボックスに表示されている「enable feature」コマンドを実行してください。このコマンドは、ログファイルにも出力されていますので、ログからコピー＆ペーストして実行するのが便利です（password は本製品の個体ごとに異なります）。

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。

アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

©2001-2006,2010-2011 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOM は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

マニュアルバージョン

2011年7月5日	Rev.J	ダウンロードモジュールの記述変更
2010年8月26日	Rev.H	fwis-v200
2006年8月24日	Rev.G	記述訂正
2005年3月3日	Rev.F	Windows XP SP2 対応
2004年7月20日	Rev.E	fwis-v196.exe (AR)
2003年6月3日	Rev.D	fwis-v192.exe (AR)
2002年12月19日	Rev.C	fwis-v19.exe (AR)
2002年7月10日	Rev.B	fwis-v15.exe、AR/SW シングルソース化
2001年10月12日	Rev.A	初版 (AR)